唄げんか橋(南田原1号橋)

北川ダムを渡るフローチング形式のPC斜張橋



施主 建設省

施工場所 大分県南海部郡宇目町

完成年 1993年 橋長 292.1m

形式 3径間連続PC斜張橋(2面吊り)

全幅 14.9m 中央支間長 170m

桁高 1.7m(等桁高)

主桁断面 (中央径間)2室開断面箱桁

(側径間)開断面中空桁

主塔形状 逆Y字形 高さ 48m

斜材 SEEE マルチ-タイブル 12段(中央径間)、13段(側径間)

架設方法 片持ち張出し架設工法

受賞 PC技術協会 作品部門 1993年

参考文献 橋梁と基礎 1993年 11月

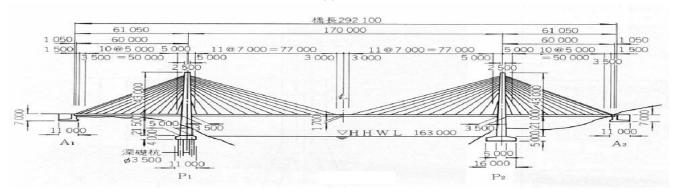
本橋は、逆Y字形の主塔から2面の斜材で吊られた3径間連続のPC斜張橋である。

中央径間に比べ側径間が短いため、主桁の断面形状を変えてバランスを取らせている。

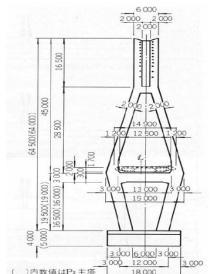
中央径間は、2室の箱桁を上床版と横桁で繋いだ開断面形状であり、側径間は、中央径間の箱桁部分が円筒型 枠を用いた中空断面になっている。

両橋台部分には、アップリフトに対するため、PC鋼材の浮上がり防止装置が取り付けられている。主塔部分では、 主桁には支承がなくフローティング構造のため、橋軸直角方向の地震力に対する水平支承が取り付けられている。

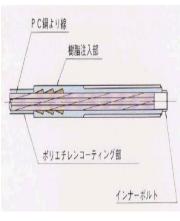
側面図



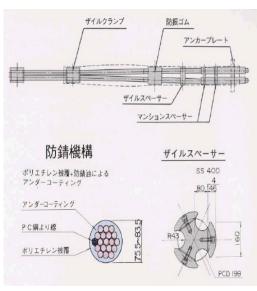
P1主塔断面図



マルチタイプシステム



F-PH型マンション断面





P2主塔8ブロック施工時

斜材緊張システム

